

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3143708号
(U3143708)

(45) 発行日 平成20年7月31日 (2008. 7. 31)

(24) 登録日 平成20年7月9日 (2008. 7. 9)

(51) Int.Cl.

F 1

F 2 1 S 8/04 (2006. 01)

F 2 1 V 21/00 (2006. 01)

F 1 6 B 5/00 (2006. 01)

F 2 1 Y 101/02 (2006. 01)

F 2 1 S 1/02 G

F 2 1 V 21/00 1 3 O

F 1 6 B 5/00 F

F 2 1 Y 101/02

評価書の請求 未請求 請求項の数 15 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	実願2008-3354 (U2008-3354)	(73) 実用新案権者	508153752
(22) 出願日	平成20年5月22日 (2008. 5. 22)		中盟光電股▲ふん▼有限公司
(31) 優先権主張番号	096210060		台湾 新竹縣竹北市中和街191巷5號
(32) 優先日	平成19年6月21日 (2007. 6. 21)	(74) 代理人	100107962
(33) 優先権主張国	台湾 (TW)		弁理士 入交 孝雄
		(72) 考案者	蔡 鎮宇
			台湾 新竹縣竹北市中和街191巷5號
		(72) 考案者	陳 力▲い▼
			台湾 新竹縣竹北市中和街191巷5號
		(72) 考案者	鄭 秀瓊
			台湾 新竹縣竹北市中和街191巷5號
		(72) 考案者	林 青賢
			台湾 新竹縣竹北市中和街191巷5號

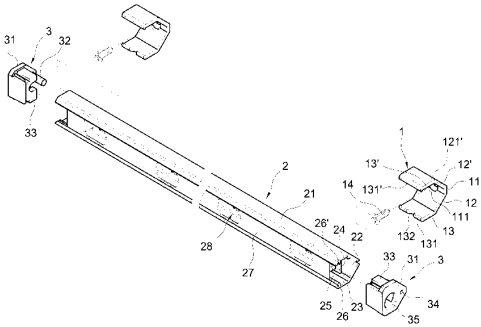
(54) 【考案の名称】 ライトバーの固定構造およびその直列接続構造

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 取付容易で直列接続可能な発光ダイオードライトバーを提供する。

【解決手段】 多角形固定座1は、底辺11、その両端から屈曲して延長された斜辺12、12'、斜辺12、12'の両端から屈曲手延長された直辺13、13'により多角形ライトバーを収用する多角形を構成し、直辺13、13'両端にライトバーを掛止する係着部131、131'を設ける。底辺、斜辺にボルトを通す穿孔111、121を、係着部には切欠きを設けて取付け角度を変更する。ライトバーの両端部を封止する封止端部3に対して該封止端部と接続する電力接続器により複数のライトバーを電氣的に直列接続する。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

キャリア上に固定され、多角形ライトバーの取り付けと照射方向の調節を行なうライトバーの固定構造であって、

底辺を有し、底辺の両端から屈曲して延長した斜辺を形成し、斜辺の両端から屈曲して延長した直辺を形成して、これら底辺、斜辺、直辺により内側に多角形ライトバーを収納する多角形を形成し、前記底辺および斜辺にそれぞれ穿孔を設けたことを特徴とする多角形ライトバーを収容固定する多角形固定座。

【請求項 2】

前記多角形固定座は、金属またはプラスチックの材料からなる弾力性を有することを特徴とする請求項 1 に記載の多角形ライトバーを収容固定する多角形固定座。

10

【請求項 3】

前記多角形固定座は、五角形または六角形であることを特徴とする請求項 1 に記載の多角形ライトバーを収容固定する多角形固定座。

【請求項 4】

前記 2 つの直辺は、内側に突起して多角形ライトバーに係止する係着部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の多角形ライトバーを収容固定する多角形固定座。

【請求項 5】

前記係着部は、切欠部を有することを特徴とする請求項 4 に記載の多角形ライトバーを収容固定する多角形固定座。

20

【請求項 6】

前記切欠部は、ネジを貫通して該多角形固定座をキャリアに固定することを特徴とする請求項 5 に記載のライトバーの多角形ライトバーを収容固定する多角形固定座。

【請求項 7】

前記穿孔は、ネジを貫通して該多角形固定座をキャリアに固定することを特徴とする請求項 1 に記載の多角形ライトバーを収容固定する多角形固定座。

【請求項 8】

前記多角形固定座は、両面テープまたはベルクロを用いてキャリアに固着されることを特徴とする請求項 1 に記載の多角形ライトバーを収容固定する多角形固定座。

【請求項 9】

30

ライトバーの両端部を封止する封止端部及び該封止端部と接続する電力接続器からなり、
上記封止端部が、板状封鎖ブロック、前記封鎖ブロックの一端に突出して設けられ、ライトバー端部開口に嵌合する凸ブロック及びライトバー外側面の長溝に沿って位置決めする円柱、

該封鎖ブロックの他端側に設けられ、位置決め柱を挿着する位置決め孔および上記凸ブロック内部に形成された内部に電氣的接続用のピン状のリード線および片状のリード線を配置した挿着孔から構成され、

上記電力接続器が、中間接続ブロック、前記中間接続ブロック両側面から延伸して設けられ、上記挿着孔に嵌合する凸柱、該凸柱から延長して形成され、内部に上記ピン状のリード線を挿通して接触する金属電極を有し、外側に上記片状のリード線と接触する金属電極を設けた中空柱から構成されていることを特徴とする 2 つ以上のライトバーを電氣的に直列接続するためのライトバーの直列接続構造。

40

【請求項 10】

前記封止端部は、ゴムまたはプラスチックの材料からなることを特徴とする請求項 9 に記載の 2 つ以上のライトバーを電氣的に直列接続するための 2 つ以上のライトバーを電氣的に直列接続するためのライトバーの直列接続構造。

【請求項 11】

前記封鎖ブロックは、板状であることを特徴とする請求項 9 に記載の 2 つ以上のライトバーを電氣的に直列接続するためのライトバーの直列接続構造。

50

【請求項 1 2】

前記接合部は、円柱状であることを特徴とする請求項 9 に記載の 2 つ以上のライトバーを電氣的に直列接続するためのライトバーの直列接続構造。

【請求項 1 3】

前記中間接続ブロックは、多角形であることを特徴とする請求項 9 に記載の 2 つ以上のライトバーを電氣的に直列接続するためのライトバーの直列接続構造。

【請求項 1 4】

前記凸柱は、円形であることを特徴とする請求項 9 に記載の 2 つ以上のライトバーを電氣的に直列接続するためのライトバーの直列接続構造。

【請求項 1 5】

前記中間接続ブロックは、凸柱の上方に位置決め柱を有することを特徴とする請求項 9 に記載の 2 つ以上のライトバーを電氣的に直列接続するためのライトバーの直列接続構造。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、照明器具に関し、特に、ライトバー (light bar) の固定構造および直列接続構造に関する。

【背景技術】

【0002】

発光ダイオードは、小型、長寿命、低消費電力、速い応答速度、優れた耐衝撃性などの特徴を有する。そのため、従来の電球、小型蛍光管または冷陰極管の発光デバイスに代わり、照明器具やバックライト光源に広汎に用いられている。発光ダイオードが照明器具やバックライト光源に用いられる場合、照明器具やバックライト光源の必要に応じて回路基板が正方形または長方形に設計される。例えば、回路基板が長方形である場合、複数の発光ダイオードが長方形の回路基板上に半田付けされてライトバー (light bar) が形成される。この発光ダイオードライトバー (LED light bar) が LCD 液晶ディスプレイのバックライト光源に用いられた場合、発光ダイオードライトバーは、従来の冷陰極管に代わり、LCD 液晶ディスプレイの導光板の周囲に直接装着される。照明器具や展示用照明に用いられる場合は、事前に発光ダイオードライトバーが装着された長方形の固定座が壁または展示棚内壁に固定されるため、ダイオードライトバーからの光線は、展示品に直接照射される。

【0003】

長方形の固定座が壁または展示棚内壁に固定されると、発光ダイオードライトバーは、一定の角度に固定されているため、照射角度を調節することができなかった。また、複数の発光ダイオードライトバーが必要な時は、それぞれの発光ダイオードライトバー間の電力入力は、配線によりすべての発光ダイオードライトバーに配分された。このような配線方法は、時間および手間が掛かり、1 本の導線が接触不良を起こしたり切断されたりすると、後続の発光ダイオードライトバーは、点灯することができなくなったり破損してしまったりした。このため、発光ダイオードライトバーを取り外して修理したり配線を再び接続したり、修理において大変手間が掛かった。

【特許文献 1】特開 2002 - 163907 号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0004】

本考案の目的は、壁または展示棚内壁に発光ダイオードライトバーを容易に固定することができ、電力接続器を用いて複数の発光ダイオードライトバーを直列接続し、取り外し交換が容易なライトバー固定構造を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0005】

10

20

30

40

50

上述の目的を達成するため、本考案は、新規なライトバーを提供する。本考案のライトバーは、多角形固定座、多角形ライトバーおよび封止端部を具える。多角形固定座は、金属またはプラスチックの材料からなる断面五角形または六角形の固定座である。多角形固定座は、底辺を有し、底辺の両端から屈曲して延長した斜辺を形成し、斜辺の両端から屈曲して延長した直辺を形成し、直辺の両端に内側に突起する係着部を設ける。底辺、斜辺、直辺により内側に多角形ライトバーを収納する多角形固定座を形成する。また、底辺および斜辺は、穿孔をそれぞれ設ける。係着部には、切欠部が設けられている。穿孔および切欠部は、ネジにより角形固定座を貫通してキャリアに螺着するのに用いられると共に、多角形固定座の方向の調節に用いられる。

【0006】

10

封止端部は、ゴムまたはプラスチックの材料からなる。封止端部は、板状の封鎖ブロックを有し、封鎖ブロックの一方の端部に円柱状の接合部および凸ブロックを凸設している。凸ブロックの断面の形状は、収納凹部、嵌溝および開口を設けた多角形ライトバーの断面形状と同じである。封止端部と多角形座体とが装着される際、接合部は、長溝に挿着される。凸ブロックは、収納凹部、嵌溝および開口の中に挿着される。封鎖ブロックのもう一方の側面には、位置決め孔および挿着孔が設けられ、挿着孔は、凸ブロックの内部まで延伸している。挿着孔は、電力入力のため、内部にピン状のリード線および片状のリード線を配置している。

【0007】

20

電力接続器は、多角形の間接続ブロックを有し、間接続ブロックは、両方の側面に延伸した円形の凸柱を有し、凸柱は、延伸した中空柱を有し、中空柱は、金属電極に包まれ、内部にもう1つの金属電極を有する。凸柱の上方で、間接続ブロック1上に円柱状の位置決めがある。

【考案の効果】

【0008】

本考案のライトバーの固定構造および直列接続構造は、固定構造により自由な角度で壁または展示棚内壁に発光ダイオードライトバーを容易に固定し、照射方向を自在に調節することができる。また、電力接続器を用いて複数の発光ダイオードライトバーを直列接続するため、故障が発生した場合でも、迅速に取り外し交換ができる。

【考案を実施するための最良の形態】

30

【0009】

以下、本考案の第一の実施形態を図面に基づいて説明する。図1は、本考案の一実施形態によるライトバーおよび固定構造を示す分解斜視図である。図2は、本考案の一実施形態によるライトバーおよび固定構造を示す斜視図である。図1および図2に示すように、本考案の一実施形態によるライトバー構造は、多角形固定座1、多角形ライトバー2および封止端部3を具える。

【0010】

多角形固定座1は、金属またはプラスチックの材料からなる五角形または六角形の固定座である。多角形固定座1は、底辺11を有し、底辺11の両側端から屈曲して斜辺12、12'を延長し、さらに斜辺12、12'の両端から屈曲して直辺13、13'を延長して形成し、直辺13、13'のそれぞれの端部に内側に突起する係着部131、131'を形成する。これら底辺11、斜辺12、12'、直辺13、13'は、内側に多角形ライトバー2を収納する多角形固定座1を形成する。また、底辺11および斜辺12は、穿孔111、121'をそれぞれ設け、また、係着部131には、切欠部132が設けられている。穿孔111、121'および切欠部132は、ネジ14により多角形固定座1を貫通してキャリアに螺着するのに用いられるほか、多角形固定座1の方向の調節に用いられる。本実施形態においては、ネジ14を用いて多角形固定座1をキャリアに螺着しているが、両面接着テープまたはベルクロを用いて多角形固定座1をキャリアに固着してもよい。

40

【0011】

50

多角形ライトバー 2 は、アルミニウム押出成形による多角形座体 2 1 を有し、多角形座体 2 1 の外部に長溝 2 2 が設けられ、多角形座体 2 1 の内部には相対して凹字型の収納凹部 2 3 が設けられている。収納凹部 2 3 は、複数の発光ダイオード 2 5 を配置する回路基板 2 4 を収納する。収納凹部 2 3 の側方の開口部の近くに対の嵌溝 2 6、2 6' が設けられ、嵌溝 2 6、2 6' には、ディフューザ 2 7 を嵌着する。ディフューザ 2 7 には、発光ダイオード 2 5 の発生した光線を照射する複数の開口 2 8 が設けられている。

【0012】

封止端部 3 は、ゴムまたはプラスチックの材料からなる。封止端部 3 は、板状の封鎖ブロック 3 1 を有し、封鎖ブロック 3 1 の一方の端部に円柱状の接合部 3 2 および凸ブロック 3 3 を凸設している。凸ブロック 3 3 の断面の形状は、収納凹部 2 3、嵌溝 2 6、2 6' および開口を具える断面形状と同じである。封止端部 3 と多角形座体 2 1 とが装着される際、接合部 3 2 は、長溝 2 2 に挿着される。凸ブロック 3 3 は、収納凹部 2 3、嵌溝 2 6、2 6' および開口の中に挿着される。封鎖ブロック 3 1 のもう一方の側面には、位置決め孔 3 4 および挿着孔 3 5 が設けられ、挿着孔 3 5 は、凸ブロック 3 3 の内部まで延伸している。挿着孔 3 5 は、電力入力のため、内部にピン状のリード線 3 6 および片状のリード線 3 7 を配置している。

【0013】

図 3 は、本考案の一実施形態によるライトバーの第 1 の使用状態を示す断面図である。図 3 に示すように、本考案の一実施形態による多角形ライトバー 2 は、使用時において、多角形固定座 1 の底辺 1 1 の穿孔 1 1 1 をネジ 1 4 で貫通して多角形固定座 1 をキャリア 4 上に螺着する。キャリア 4 は、壁または棚である。多角形固定座 1 が螺着されると、多角形固定座 1 の開口部は、下を向く。そして、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 の開口部に沿って挿入されると、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 に装着され、多角形ライトバー 2 が発生する光線を下に向けて照射する。照射方向を調整する場合は、ネジ 1 4 を外して次のようにして装着し直せば、多角形ライトバー 2 の照射方向を調節することができる。

【0014】

図 4 は、本考案の一実施形態によるライトバーの第 2 の使用状態を示す断面図である。図 4 に示すように、本考案の一実施形態による多角形ライトバー 2 は、使用時において、多角形固定座 1 の斜辺 1 2' の穿孔 1 2 1' をネジ 1 4 で貫通して多角形固定座 1 をキャリア 4 上に螺着する。多角形固定座 1 が螺着されると、多角形固定座 1 の開口部は、右を向く。そして、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 の開口部に沿って挿入されると、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 に装着され、多角形ライトバー 2 が発生する光線を右下に向けて照射する。照射方向を調整する場合は、また、ネジ 1 4 を外して次のようにして装着し直せば、多角形ライトバー 2 の照射方向を調節することができる。

【0015】

図 5 は、本考案の一実施形態によるライトバーの第 3 の使用状態を示す断面図である。図 5 に示すように、本考案の一実施形態による多角形ライトバー 2 は、使用時において、多角形固定座 1 の斜辺 1 2' の穿孔 1 2 1' をネジ 1 4 で貫通して多角形固定座 1 をキャリア 4 上に螺着する。多角形固定座 1 が螺着されると、多角形固定座 1 の開口部は、左下を向く。そして、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 の開口部に沿って挿入されると、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 に装着され、多角形ライトバー 2 が発生する光線を左に向けて照射する。照射方向を調整する場合は、さらに、次のようにしてネジ 1 4 を外して装着し直せば、多角形ライトバー 2 の照射方向を調節することができる。

【0016】

図 6 は、本考案の一実施形態によるライトバーの第 4 の使用状態を示す断面図である。図 7 は、本考案の一実施形態によるライトバーの第 5 の使用状態を示す断面図である。図 6 および図 7 に示すように、本考案の一実施形態による多角形ライトバー 2 は、使用時において、多角形固定座 1 の斜辺 1 2' の穿孔 1 2 1' をネジ 1 4 で貫通して多角形固定座 1 をキャリア 4 上に螺着する。多角形固定座 1 が螺着されると、多角形固定座 1 の開口部

は、下を向く。そして、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 の開口部に沿って挿入されると、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 に装着される。照射方向を調整する場合は、多角形ライトバー 2 を外してさらに、次のようにして多角形固定座 1 に装着し直せば、多角形ライトバー 2 の照射方向を調節することができる（図 7 参照）。

【 0 0 1 7 】

図 8 は、本考案の一実施形態によるライトバーの第 6 の使用状態を示す断面図である。図 8 に示すように、本考案の一実施形態による多角形ライトバー 2 は、使用時において、多角形固定座 1 の斜辺 1 2 ' の穿孔 1 2 1 ' をネジ 1 4 で貫通して多角形固定座 1 をキャリア 4 上に螺着する。多角形固定座 1 が螺着されると、多角形固定座 1 の開口部は、下を向く。そして、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 の開口部に沿って挿入されると、多角形ライトバー 2 が多角形固定座 1 に装着される。多角形ライトバー 2 は、光線をキャリア 4 の壁面に照射し、壁面により照射する場所へ光線を反射させる。光線を照射する場所を調節するため、多角形ライトバー 2 を多角形固定座 1 上で直接調整する。照射方向を調整する場合は、ネジ 1 4 を外してさらに、次のようにして装着し直せば、多角形ライトバー 2 の照射方向を調節することができる。

【 0 0 1 8 】

図 9 は、本考案のもう一つの実施形態によるライトバーおよび固定構造を示す分解斜視図である。図 9 に示すように、本実施形態は、多角形ライトバー 2 と多角形ライトバー 2 ' とが電力接続器 5 により接続されて多角形ライトバー 2 が電氣的に直列接続されたものである。電力接続器 5 は、多角形の間間接続ブロック 5 1 を有し、中間接続ブロック 5 1 は、両端面に延伸した円形の凸柱 5 2、5 2 ' を有し、凸柱 5 2、5 2 ' は、延伸した中空柱 5 3、5 3 ' を有し、中空柱 5 3、5 3 ' は、金属電極 5 4、5 4 ' に包まれ、内部にもう 1 つの金属電極 5 5、5 5 ' を有する。凸柱 5 2、5 2 ' の上方で、中間接続ブロック 5 1 に円柱状の位置決め柱 5 6、5 6 ' がある。

【 0 0 1 9 】

封鎖ブロック 3 1 のもう一方の側面には、位置決め孔 3 4 および挿着孔 3 5 が設けられている。位置決め孔 3 4 は、位置決め柱 5 6、5 6 ' を挿着する。挿着孔 3 5 は、凸ブロック 3 3 内部に深く延伸していて、内部にピン状のリード線 3 6 および片状のリード線 3 7 を配置し、金属電極 5 4、5 5 に接触させて電力を入力する。本実施形態においては、位置決め柱 5 6、5 6 ' は、ポカヨケ 効果があり、挿着ミスを防止する。

【 0 0 2 0 】

図 1 0 は、本考案の一実施形態によるライトバーと電源供給器の接続状態を示す斜視図である。図 1 1 は、本考案の一実施形態によるライトバーと電源供給器の接続状態を示す断面図である。図 1 0 および図 1 1 に示すように、本考案の一実施形態による多角形ライトバー 2 の封止端部 3 の挿着孔 3 5 に電源供給器 6 の電源入力端子 6 1 が挿着されると、電源供給器 6 は、第 1 の多角形ライトバー 2 に電力を供給し、電力接続器 5 の中空柱 5 3 が挿着された第 1 の多角形ライトバー 2 のもう一方の側面にある封止端部 3 の挿着孔 3 5 が金属電極 5 5 とリード線 3 6 とを電氣的に接触させ、同時に金属電極 5 4 とリード線 3 7 とを電氣的に接触させる。位置決め柱 5 6 は、位置決め孔 3 4 中に挿着されることにより、電力接続器 5 を固定する。電力接続器 5 のもう一方の端部の中空柱 5 3 ' は、第 2 の多角形ライトバー 2 ' の封止端部 3 ' の挿着孔 3 5 ' に挿着され、中空柱 5 3 ' の金属電極 5 5 ' とリード線 3 6 ' とを電氣的に接触させ、同時に金属電極 5 4 ' とリード線 3 7 ' とを電氣的に接触させる。位置決め柱 5 6 ' は、位置決め孔 3 4 ' 中に挿着され、電力接続器 5 が固定することにより、第 1 の多角形ライトバー 2 の電力が第 2 の多角形ライトバー 2 ' に入力され、複数のライトバーが電氣的に直列接続される。

【 0 0 2 1 】

本考案では好適な実施形態を前述の通りに開示したが、これらは決して本考案を限定するものではなく、当該技術を熟知する者は誰でも、本考案の精神と領域を脱しない範囲内で各種の変更や修正を加えることができる。従って、本考案の保護の範囲は、実用新案請求の範囲で指定した内容を基準とする。

10

20

30

40

50

【図面の簡単な説明】

【 0 0 2 2 】

。

【図 1】本考案の一実施形態によるライトバーおよび固定構造を示す分解斜視図である。

【図 2】本考案の一実施形態によるライトバーおよび固定構造を示す斜視図である。

【図 3】本考案の一実施形態によるライトバーの第 1 の使用状態を示す断面図である。

【図 4】本考案の一実施形態によるライトバーの第 2 の使用状態を示す断面図である。

【図 5】本考案の一実施形態によるライトバーの第 3 の使用状態を示す断面図である。

【図 6】本考案の一実施形態によるライトバーの第 4 の使用状態を示す断面図である。

【図 7】本考案の一実施形態によるライトバーの第 5 の使用状態を示す断面図である。

10

【図 8】本考案の一実施形態によるライトバーの第 6 の使用状態を示す断面図である。

【図 9】本考案のもう一つの実施形態によるライトバーおよび固定構造を示す分解斜視図である。

【図 10】本考案の一実施形態によるライトバーと電源供給器の接続状態を示す斜視図である。

【図 11】本考案の一実施形態によるライトバーと電源供給器の接続状態を示す断面図である。

【符号の説明】

【 0 0 2 3 】

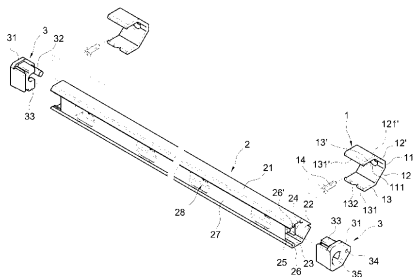
- | | | |
|------|----------|----|
| 1 | 多角形固定座 | 20 |
| 2 | 多角形ライトバー | |
| 2' | 多角形ライトバー | |
| 3 | 封止端部 | |
| 3' | 封止端部 | |
| 4 | キャリア | |
| 5 | 電力接続器 | |
| 6 | 電源供給器 | |
| 1 1 | 底辺 | |
| 1 2 | 斜辺 | |
| 1 2' | 斜辺 | 30 |
| 1 3 | 直辺 | |
| 1 3' | 直辺 | |
| 1 4 | ネジ | |
| 2 1 | 多角形座体 | |
| 2 2 | 長溝 | |
| 2 3 | 収納凹部 | |
| 2 4 | 回路基板 | |
| 2 5 | 発光ダイオード | |
| 2 6 | 嵌溝 | |
| 2 6' | 嵌溝 | 40 |
| 2 7 | ディフューザ | |
| 2 8 | 開口 | |
| 3 1 | 封鎖ブロック | |
| 3 2 | 接合部 | |
| 3 3 | 凸ブロック | |
| 3 4 | 位置決め孔 | |
| 3 4' | 位置決め孔 | |
| 3 5 | 挿着孔 | |
| 3 5' | 挿着孔 | |
| 3 6 | リード線 | 50 |

- 3 6 ' リード線
- 3 7 リード線
- 3 7 ' リード線
- 5 1 中間接続ブロック
- 5 2 凸柱
- 5 2 ' 凸柱
- 5 3 中空柱
- 5 3 ' 中空柱
- 5 4 金属電極
- 5 4 ' 金属電極
- 5 5 金属電極
- 5 5 ' 金属電極
- 5 6 位置決め柱
- 5 6 ' 位置決め柱
- 6 1 電源入力端子
- 1 1 1 穿孔
- 1 2 1 ' 穿孔
- 1 3 1 係着部
- 1 3 1 ' 係着部
- 1 3 2 切欠部

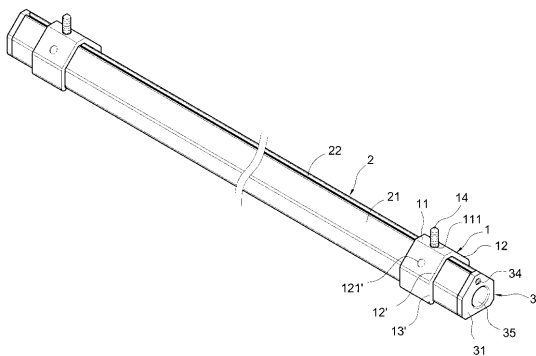
10

20

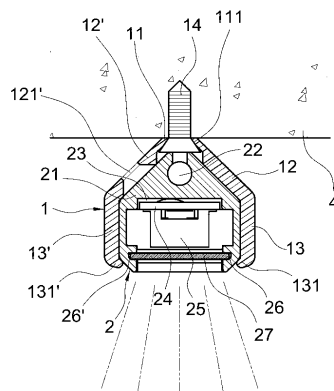
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 11】

